

平成30年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会 会議録

日時：平成31年3月8日（金）午前10時00分から11時35分

会場：多摩市立教育センター 202会議室

出席：委員8名（会長、副会長、委員6名） 事務局（図書館）2名

欠席：委員3名（瓜生小学校校長、和田中学校校長、くらしと文化部文化・市民協働課長）

開 会

1 会長（図書館長）挨拶

会長

皆さんおはようございます。只今より平成30年度第2回第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会を開催いたします。本日、3名の委員からご欠席の連絡をいただいております。出席委員は8名で定数に達しておりますので開催をいたします。

本日は年度末で議会月のお忙しいところ、また場所が教育センターということでちょっと遠いところでありましたけれども、ご出席ありがとうございます。また本日の会議の他、関係する会議といたしまして、庁内連絡会を2月21日、それから小中学校連絡会を3月7日に開催いたしました。そちらにつきましては、係長また学校の先生方に出席していただきましてありがとうございました。

それではまず事前配付資料と当日配付資料について説明をさせていただきます。事前の配付資料ですが、次第と共にお届けをしております。資料1 第三次子どもの読書活動推進計画アクションプランについて、資料2 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画平成30年度推進状況活動様式案（記入例）とありますが、それについては当日差し替えで、席上に置かせていただいておりますので、お手数ですが差し替えをお願いします。またもう一つ事前配付資料といたしまして資料3でございますけれども、第10回子ども読書まつり《ほんとふえスタ》のチラシ（ピンク色のチラシ）を事前にお送りしております。

それから本日の当日配付資料は、まず前回（第1回）の推進連絡会会議録、先ほどご説明しました資料2の様式案の差し替え。そして各学校記入様式です。また参考として推進計画の概要版を置かせていただきましたが、これは見ていただいて、特に必要なければ会議の後そのまま置いていかれて構いません。資料につきましては以上でございます。

ます。

それでは、次第に沿いまして会議の方を進めていきます。次第の 2 番、議題ですが、本日は 2 点審議する事項がありますのでよろしくお願ひいたします。

それではまず、(1)アクションプランについて(図書館、関係課、小・中学校)を私の方から説明をさせていただきます。

前回の会議の振り返りも含めて説明をさせていただきます。

まず第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を平成 30 年 3 月に策定をしております。それはこちらの概要版の方にも書いていますが、この概要版を開いたところに重点施策というのがございまして、この重点施策に基づきまして、図書館、関係課それから関係機関、学校、地域が連携して、具体的な取り組みを進め、子供の読書活動を推進していくということにしております。計画の期間は平成 30 から 35 年度(2023 年度)までということで 6 年間としているところでございます。今年度は計画の最初の年度でございまして、計画の着実な推進に向けて、図書館それから関係課、小・中学校が各自、6 年間を見渡した上で、それぞれの自分たちが取り組む内容を年度ごとにまとめていただき、それを関係者で共有できるようにすること、それからまた各取り組みをする担当者の方々が、実際に現場で活用できるようなものをまずは作りたいという趣旨で、アクションプランという、具体的な活動の計画表と申したらよろしいのでしょうか、そういったものを作りたいということを前回の会議で提案をさせていただきました。そしてお認めいただいたところでございます。

それでアクションプランを作成します、ということになりましたが、作成に当たりまして、昨年 9 月に具体的な取り組みをする担当課と学校にプラン作成の依頼をいたしました。その中でも図書館につきましては、各課と連携して取り組みを行うという必要がありますので、打ち合わせ(ヒアリング)を関係課の方とさせていただきました。主に打ち合わせをさせていただいたのは、教育センター、発達支援室、国際交流センター、文化・市民協働課、児童青少年課で、係長、ご担当の方とそれぞれ個別に打ち合わせ会を設けさせていただきました。ご協力ありがとうございました。その中で、各関係課の読書推進の取り組みの状況、今後の取り組みとして何ができるか、といったことを話し合うことができました、それをこのアクションプランの方に落とし込んでいただきました。またこの打ち合わせの中で、図書館としてもなかなか PR が足りていないことに気がつき、今回のこういった打ち合

わせは大変参考になりました。

また各学校に関しては、学校ごとにアクションプランを作成してもらうということをお願いいたしました。こちらにつきましては、校長連絡会の方でご説明させていただいた後、図書館職員も出席しています、夏の司書教諭、学校図書館司書対象の研修会の方でも説明をさせていただいて、10月から2月にかけて、さらに4回ほど開催されました小・中学校の学校図書館司書の研修会の方でも、少し時間をお借りしまして、学校の現状を共有しアクションプランに関する協議を行いまして、その結果、学校で積極的にこのプランの作成に取り組んでいただいたところがございます。こういった中で着実に取り組みが進んでいけると、私どもで考えているところがございます。

このような経過を経ましてご検討いただいて、最終的に図書館の方に提出いただいてまとめたものが資料1です。この資料1につきましては、最初のA4の1枚、それからアクションプランとしては図書館、関係課分として、ホチキス止めのものが一部、それから小・中学校分してまとめたものが一部あります。こちらにつきましては今後の予定といたしましては、3月25日に、教育委員会が開催されますので、そこで報告をすることを予定しております。

この資料1の説明につきましては、事務局から説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。

(事務局)

それでは、資料1についてご説明をいたします。

まずA4についてですが、まず1についてです。これはアクションプランの考え方について整理してまとめました。

1点目、このプランは計画期間6年間の初年度に6年間全体を見渡し、担当課が自ら考えた取組み予定を時系列にまとめたものです。

2点目、これは着実な計画推進のために実務で使用するもの、また関係課で共有するものでございます。

3点目、6年全体の記入が難しいものについてはおおむね前半の2020年度までを記入してあります。

4点目は、毎年、進捗状況を確認し、必要に応じてプランの修正を行うことが可能です。

なお補足としまして、図書館・関係分と学校分かれておりますが、学校の分につきましては、アクションプランが時系列になっておりません。これは学校名を出さないということになりましたので、この制約をどうするかということと、また学校分はかなり分量が多くなりますので、そのようなことを鑑みて、学校のアクションプランについま

しては時系列ではなく、小・中学校の 6 年間で達成したい目標の中から、主なものを列挙するという形にさせていただきました。

次に 2 に入ります。

図書館・関係課のアクションプランにおける表記ですが、図書館が担当である事項については、図書館の中の担当係名を表記しています。例えば 1 ページ目でございますが、2018 年度のところの、ホームページのリニューアルの上に、(企・子) と表記してありますが、これは企画運営担当と子ども読書支援係が行うことを示したものでございます。2 ページ目の 2018 年度の列に、(サ・唐木田) とありますが、これは図書館の中のサービス係と唐木田図書館が行うという意味でございます。

次に 3 でございますが、その他ということで補足をつけております。第三次計画の中で新規事項と表記されているものでございますが、この中身については二種類あるということになっております。一つは文字通りの新規事項、つまり初めての取り組みに当たるものでございます。もう一つは、以前から実施しているが、第二次計画に取り組み事項としてあげていなかったものがございます。この二つ目につきましては、今後、*新規掲載事業とわかりやすく補足の表記をする予定でございます。例えば 10 ページの一番上でございます。新規事項①夏期に市内公民館で行う展示会や・・・という項目がございます。こちら見ていただくと、アクションプランの 2018 年度のところに「引き続き、・・・」というふうに書かれておりますが、この意味は、今申し上げましたように、第二次計画以前から取り組んできている事項であるが、第三次計画で初めて掲載したということです。ここには、これから*新規掲載事項と表示します。

それでは、図書館・関係課のアクションプランにつきましては、全 61 ページに及ぶことから全部のご説明はできませんので、いくつか代表的なものを説明させていただきたいと思います。

48 ページ。施策番号 9 支援の必要な子どもたちへの取り組みの推進、重点事項の一番上の新規事項でございます。「マルチメディアデージー、LL ブック、大活字児童書、点字絵本、布の絵本等の紹介コーナーの設置と PR、教育センター及び発達支援室等への LL ブック等の団体貸出をすることによって、保護者等へ情報を提供する。」この事項につきまして、図書館が担当課となっております、これをどのように取り組みを展開していくかというのが、48 ページの 2018 年度から 2023 年度までのところです。2018 年度につきましては、子ども

読書支援係の方で図書の購入の促進、教育センター発達支援室に団体貸出を開始する。豊ヶ丘図書館では、本ともフェスタ期間中を利用して、次の資料の展示コーナーを作り、情報提供する。東寺方図書館では各々のコーナーで案内表示を実施する。永山図書館ではすでに「ふじゆうって、なあに？」のコーナーに設置済み。展示物、コーナー看板等を新しくする。資料の置き方、位置等を見やすくわかりやすくなるように改善する。同じように 2019 年度から 2023 年度までの予定も特に前半のところはある程度具体化は出来ます。後半については当然前半の進み具合も関係してきますので、今の段階では矢印が多くなっておりますが、このような形で 6 年間で計画的に推進していきたいと考え、現段階でのアクションプランは、このような形になっているということでございます。なお、ここにあります「教育センター、発達支援室に LL ブック等の団体貸し出しをする」というところですが、今日、実物をお持ちしました。教育センター、発達支援室に貸出をして、来館者、特に保護者の方々に PR してもらいたいと考えております。

関係課の例としては、例えばですが、施策 3 おはなし会イベントの充実(29 ページ) 子育て支援課がご担当になっていますが、「①秋の読書週間にあわせ「おやこまつり（仮称）」を開催し、保護者の読み聞かせへの関心を高める。」この事項につきましては、子育て支援課からこのような形で 6 年間の計画が出てきております。2018 年度、今年度ですが、「保育参観でおやこ読書まつりの一環として、保護者が読み聞かせ体験をし、アンケートにて保護者の思いを検証する。」もう一点は「2019 年度の実施計画を立てる。」この 2 点です。2019 年度、来年度ですが、上の一点目については引き続き、最終年度まで継続する。もう一点の実施計画を立てた後の取り組みですが、「策定した実施計画に基づき取り組みを実施する。」そしてさらに、「次年度の実施計画を立てる。」このような計画が出ています。

2 つの課が関わる例といたしましては、16 ページ。上の新規事項「①地域図書館が併設されていない児童館・学童クラブにおいて、「幼児のつどい」、「常設ひろば（午前中）」、学童クラブの「育成時間（午後）」に各施設と連携して図書館がおはなし会を実施し、その中で図書館を PR する。」これは担当課が図書館と児童館・学童クラブの 2 課にまたがります。こちらのアクションプランにつきましては、先ほど会長がお話をさせてもらいましたが、2 回ほど、児童青少年課児童係長と諏訪児童館長との打ち合わせの場を設けさせていただきまして、共同でできるものをこのような形でまとめました。今年度につきましては、「今

後の方針等の検討を図書館（両課）と行う。」来年度以降は、今回、打ち合わせをしまして、現段階でやっていけそうなことを、細かく書いています。6年間で各児童館・学童クラブへおはなし会等で巡回できるようにその内容を落とし込んでいます。

次に、小中学校分に入ります。先ほど、少しご説明させてもらいましたが、9月の校長連絡会におきまして、アクションプランの趣旨、調査方法等についてご説明をさせていただきましたときに、校長連絡会から学校名は出さないようにしてほしいというご依頼がありました。また、ご提出いただきました調査結果が紙ベースではかなりのボリュームになりますので、今回教育委員会に報告するアクションプランにつきましては、図書館・関係課のような時系列ではない、このような項目の列挙という形にしました。

なお、2月の中学校校長連絡会におきまして、このような形でお配りしましたところ、各学校に配るアクションプランにつきましては、学校名を入れた時系列のものを作成して、ぜひ配ってほしいと言われました。その理由は、学校図書館司書や司書教諭が実際に現場で活用したり、学校間の情報共有等に役に立つと思うとのこと。現在、私どもの方で作成を進めているところでございますが、教育委員会につきましては、本日お配りしている様式で報告をさせていただきます。

また本日、参考資料として追加でお配りしたのは、各学校から提出されたアクションプランでございます。学校名は伏せております。全19ページ及ぶもので、図書館や関係課と同じように、時系列でどの時期にどういうことをやるかを書き込んでいただいております。

例えば、1ページ目ですが、「子どもの興味に合った本の情報提供」に対しまして、この中学校は2018年度は1点目が「図書館だよりに本の紹介を掲載する。（司書・図書館委員作成分）」2点目が「テーマに沿った方の展示」、3点目が「教科の単元に関連した図書の展示」、4点目が「長期休暇前にお薦めの本のリストを発行・配布」。2019年度はこの4点に加えてもう一点、「教科の宿題やレポートの情報をもとに資料を提供する」。ということを挙げています。

つきましては学校につきましては、このような時系列で全校分が見られるものを、今後、こちらで作成をして配付したいと考えています。以上でございます。

会長

これで説明は終わりました。こちらの本日お配りした資料1の関係につきましては、3月25日の教育委員会には、各課、学校で着実な取り組みができるように作成したアクションプランである、と報告をする予定

です。もしこの中でご質問等ございましたら、今、あげていただければと思います。いかがでしょうか。

なお、個々の年度単位の具体的な取り組みにつきましては、実施にあたって無理がないような形で作成していただき、またこれについての振り返りをどうするかでは、もし変更がある場合には、変更も可能だということを、このプランをつくるときにお話をした上で作成をしているものです。

委員

複数の課が担当課になっている項目があると思いますが、先ほども説明ありました。おのおので進めていくものと連携して進めていくものが当然出てくると思うのですが、そのあたりのところの役割だとか、そういったところはアクションプランつくるときに話し合われているのでしょうか？ 検証するのも検証がしづらいような気がするのですが。具体的に言うと、38 ページ ①「学校図書館の蔵書の効果的な活用を目指し、学校図書館の資料等の流通について検討する。」で、担当課に教育振興課、学校指導課、図書館が入っていて、これは「検討する」となっていますが、アクションプランには教育指導課、教育振興課でやることが入れてありつつ、図書館でやることも一番上の方に入っていて、この辺のところは別々で動くものなのか、あるいは連携して動くものなのかとか。そういったところは各課で共通認識されているものとして受けとめてよろしいのでしょうか？

会長

はい。お答えしますが、連携してやる取り組みの中でも、各課がそれぞれ取り組みを進めていくということで実行できるようなものもありますし、例えば今の 38 ページの一番上の新規事項につきましては、予算にも絡んでくるということもありますので、やはりじっくり検討が必要になってくるかと思います。これにつきましては図書館の方が主体となって声掛けを各関係課にしながら、進めていくことを考えております。こちらの項目に関しては、新聞の配備というのは、平成 28 年の 11 月に文部科学書が出されている学校図書館ガイドラインにおいて、学校図書館における図書館資料の一つとして、新聞というのが示されていますし、その中では教育に活用するためには、複数紙の配備に努めることが望ましい、とされています。そうしますと、やはりどのようなすれば配備できるかどうかということをもまず考えていかなければいけないと思っており、今回のアクションプランの中でも、ここは予算なども絡んでくる重要な事項となりますので、このアクションプランですと、来年度から図書館の方で「学校へアンケートをとる」「関係課会議開催」となっていますけれども、図書館の方から関係する教育指導課、教育振興課の方

に声をかけて、検討を進めていくということで考えております。

申し訳ございません。新聞のことを言ってしまいましたが、流通に関しても今言ったような形になります。

今の新聞のことを申し上げましたが、これは 37 ページの下から 2 行目のところで、レベルアップ事項ということで、「発達段階に応じた学校図書館への新聞配備を検討する。」ということがありまして、先ほど私はそちらについて申し上げたのですけれども、やはりこれも予算が絡むものということで、担当課は学校となっているのですけれども、学校が新聞配備について考えていくのは、難しいと思っています。これについても、実際のところは、教育指導課、教育振興課の方と話をしながら、図書館の方が主体となって進めていかなければならないと思っています。

ちなみにですけれども、新聞の配備につきましては、今年度は学校の方には、どのような取り組みを推進していくかということは、アクションプランとしては出させていただいておりません。今年度は資料 1 の「小・中学校のアクションプラン」の 13 ページにありますが、学校に課題を把握するためにアンケートを実施しておりますので、こちらを踏まえた上で、今後どのように進めていくかを検討していきたいと思います。

それから先ほど最初のご質問の「学校図書館間の資料等の流通」に関しては、予算的な部分、どのような仕組みを考えるのか、またそれが必要なかどうかということを検討していかなくてはいけないと考えております。以上です。

委員

ありがとうございます。流通のところで見えていくと、図書館が「学校へアンケートをとる、関係課会議を開催する」。教育指導課は「流通について積極的に発信していく」。教育振興課が「新たな流通の仕組みを検討する」。というと何かバラバラな感じがしますし、流通の仕組みの検討は教育振興課だけでは当然できないと思っています。やるとすると学校交換便でできるのか、というそれぐらいのところに留まってしまうような気がします。もっと大きなところで話すとなると、教育振興課での取り組みに留めてしまってよいのかというのを、この項目で気がついたのですけど、他のところもそのようなものがあるのかな？とか、全体的にやらなければいけないところを各課でやるということだと言って留めておいてよいのか？　こういう作りでいいのかな？と。

会長

このアクションプランは施策も含めてですけれども、提出していただいた後で、図書館の方でひと通り確認をしながら、どのように各課や学校で進行していくのか、各課、学校だけで進行できるのかどうか、やはり図書館からの調整が必要なのかということを、全体を通して確認をし

ております。その中で、図書館が中心になって足並み揃えてというところも含めて、調整が必要なものに関しては図書館の方から積極的に働きかけをしていくようにします。そのようなつもりで作っております。

委員

ありがとうございます。そうすると図書館で「関係課会議開催」などを入れているところが、全体調整をします、という意思表示であり、図書館がリードしていくということでよろしいのでしょうか？

会長

そのように進めていくつもりでおります。

委員

はい。承知しました。

委員

一つ質問させていただきます。先ほど冒頭で、必要に応じてプランの修正を行いながら進めていくというお話がありましたが、このプランの修正というのは、毎年推進状況を確認してというお話だったのですが、例えば年度途中でも、ありえるのでしょうか？ あともう一つは、例えば 11 ページの一番下に、「①展示の充実（テーマ、関心事に合わせた展示の実施）」が継続事項があります。発達支援室では講演会等是一直も行っていただいています。来年、再来年と教育センターの方で中心に行うという計画の改定がありました。特別支援教育計画の改定があったため、それが盛り込めてなかったりしています。そういったときにテーマに応じて設定をしていただいて、展示をしていただく、もしくは図書館でそのテーマをその時取り上げていただくなども、今後、追加をできるのかどうか、そのあたりを教えていただきたい。

会長

はい。ここに載せている取り組み以外のものでも、取り組んだものについては、最終的に振り返りの段階で作成する様式の方には載せていただくような形にする予定としていますが、これは次の議題のところでお話をしたいと思います。それから、例えばここで言う企画展示であったり、先ほどの説明会という中での様々な図書の展示、PR ということについても、声をかけていただいて、内容も時期的なもので調整可能であれば、例えば特別支援に関してなどは図書館の方も積極的に取り組んでいきたいと思っていますので、できる範囲で協力の方はもちろんさせていただきますと思います。

委員

ありがとうございます。そうするとアクションプランに必ずしも文言で入ってなくても、その都度調整をする中で趣旨に合ったもので調整可能であれば進めていくという理解でよろしいですか？

会長

それで進めさせていただきます。ほかにご質問、ご意見等ありますか。

委員

まず 1 点目は、先ほど新聞の件がありました。小・中学校のアクションプランの 13 ページのところにアンケート結果が出ているのですけれども、中学校は 9 校で全校ですが、小学校は 14 校であと 3 校の回答がな

と思いますが、何か理由があったのかどうか？ 今後、このアンケートをもとにしながら、新聞の導入について検討していくということなのですけれども、その場合については、全校のアンケートが揃っておいた方がよろしいかと思いますので、今後の検討に向けてこの 3 校についてはどうする予定なのか、という点について教えていただければというのが一点です。

2 点目については、これから教育委員会で報告をされるということでしたので、今ざっと見た中で表記については特にはないのですが、例えば印刷で字が切れているだとか、語尾に丸をつけるのかつけないのか、ということも含めてもう一度、きちんと揃えていく必要があるのではないかな、というふうに感じました。これは意見です。

会長

1 点目のアンケートが全校分揃っていない点につきましては、事務局の方から説明させていただきます。

(事務局)

アンケートにつきましては、この質問について回答が書かれていなかった学校が 3 校あるということです。未記入の理由につきましては、こちらの方から再確認の連絡はとっておりません。今後、再確認をする方向で考えたいと思います。

会長

それから 2 点目の誤字や修正の部分ですが、このアクションプランは、ちょっとボリュームが多いので、再度確認しつつ、修正を加えているところなのですけれども、まだ修正が必要な部分もあることは私どもも分かっているところでございまして、教育委員会に提出するときには、きちんと修正をした上で提出したいというふうに考えております。

委員

ひとつ質問です。小・中学校のアクションプランについては、それぞれ取り組みが多いので、ここに学校名を挙げずに記載してあるということですが、例えばある小学校で「図書室の様子を公開します」というものがあり、同じような内容の学校があったとしたら、これは一緒にまとめられているのか、そうではないのか、そこを教えてもらってもよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。主な取り組みとさせてもらっていますので、同じもの、似たものは統合しています。

委員

例えば今度、教育委員会で報告をされるときには、その点をまず説明することで教育委員の皆さんにも分かりやすくなると思いますので、そこはよろしくお願いいたします。

会長

はい。ご意見ありがとうございます。はい。ほかにはよろしいでしょうか。

- 委員 すいません。先ほど説明があった 16 ページの「地域図書館が併設されていない児童・学童クラブにおいて・・・」の部分ですが、おはなし会に行く方はボランティアの方を考えているのですか？
- (事務局) 現段階では図書館の職員が出向くことをまずは考えておりますが、
今後は、図書館以外のボランティア等の力も借りながということも考えて
しております。まず当初は図書館の職員が直接行って行うことを考えてい
ます。
- 委員 では、「実施希望施設でおはなし会実施個所のリストアップを行い」と
いうところですが、具体的には年間何回程度というような見込みはある
のでしょうか？ 良い取り組みだとは思いますが、たくさんの施設か
ら手が上がった場合、実際に全部出来るのかということを考えて精査を
するのかどうかということ聞きたいのですが。
- (事務局) 今年度は、児童青少年課児童係長、諏訪児童館長とミーティングをし、
今後の方針を検討しました。そして 2019 年度に「巡回計画を作成する」
としました。つきましては巡回計画を策定する時点で、年間どれぐら
いとか、具体的なことを決めていくということになっております。今年
度は今後 6 年間の取り組みを検討して、このような形にまとめました。
- 会長 他にご質問ご意見等はよろしいでしょうか。そうしましたら、まだ最
最終的に完成版としてできていない部分、誤字脱字等、そういったものを
修正いたしまして、3 月 25 日の教育委員会で報告をしたいと思ってお
ります。また会議終了後、お気づきの点、修正の箇所がございましたら、3
月 13 日までに、図書館の方にご連絡をいただきたいと思いますので、よ
ろしくお願いいたします。
- それでは次に進みたいと思います。
- 次第の 2 番目(2)平成 30 年度の推進状況調査について、に入ります。今
回作成いただきましたアクションプランをもとに、年に 1 回推進捗状況
を振り返っていくということを考えております。資料は、差替えの資料 2
です。推進状況調査としておりますが、これにつきましては、評価とい
う形で行うものではなく、図書館、関係課、小・中学校がそれぞれの 1
年間を振り返ることで、その年度の成果を確認いたしまして、必要な場
合はプランの見直しを行うという趣旨で考えております。そして最終的
に計画期間の 6 年間を終了するときには、個々の政策、目標に対して、
各課、学校がそれぞれどのような取り組み経過と実績ができたのかとい
うことを、目に見える形で記録として最終的には残すことができると考
えております。
- 資料 2 についての詳細を事務局から説明をさせていただきます。

(事務局)

それでは資料 2 を見ながら、記入の仕方についてご説明させていただきます。片面 2 枚ですので両方を見ながらお願いします。まず記入にあたってです。

1 振り返り欄について。2 ページ目のシートを見ていただきますと、平成 30 年度 2018 年度の列の隣に「振り返り」という列を作っております。ここは 2018 年度の取り組みの振り返りを行ってください。％の数値は目安でございます。始めは数値を入れておりませんでした、庁内連絡会で「人によって「おおむね」とはどれくらいか、ばらつきが出てはいけないので、数値も入れていただきたい」というご意見がありましたので入れました。A,B,C ですが、「A」予定していた取り組み内容を達成できたは、だいたい 100％～90％以上。「B」おおむね達成できたは、89％～60％、「C」の達成できなかった、実施しなかったは、59％～0％の 3 つのレベルに分けてみました。

2 当初は予定していなかったけれども、成果して取り行った取り組みがある場合ですが、こういうものもあろうかと思ひまして、この場合には実施した取り組みを 2018 年度の欄に記入していただくとともに振り返りの欄には、アルファベットの「S」入れていただくことを考えております。

3 平成 30 年度 2018 年度の欄についてですが、(1)は振り返りが「C」、つまり、達成できなかった、実施できなかったという場合です。この場合はアクションプランを必ず修正していただきたいと考えております。記入の手順は、まず実施できなかった部分に取消し線を引いて見え消しで削除し、実際に実施した事項を加筆し、併せて備考欄には実施できなかった理由を記入していただきます。具体的に言いますと 2 ページ目の「C」のところですが、真ん中あたり、「企画運営担当 ホームページ上で団体貸し出した PR を行う」があります。これをもし実施できなかった場合は、このように、見え消しで削除し「C」とする。そして「C」にした理由を備考欄に「内部調整に時間を要した。予定を 1 年遅らせる。」とここでは書いております。その結果、2019 年度の実施予定にも修正を加える。ここでは（白黒印刷なのでわかりにくいのですが）2018 年度の目標を 2019 年度のところにずらしています。これが、振り返りが「C」の場合の対応方法でございます。

(2)は「A」または「B」の場合ですけれども、これは必要な場合のみプランの変更していただくということでございます。また、プラン変更した場合はあわせて備考欄に変更の理由も書いていただきたいと思います。2 ページ目で申し上げますと、「子ども読書支援係 児童館長とメール活

用について意見交換をする」ですが、ここは、別にアクションプランを修正する必要はないのですが、備考欄に「予定通り実施できたが、2019年度は回数を増やす。」ということを決めたということで、2019年度には意見交換の回数を2回と明記して、最終年度まで→を引いております。

(3)は「S」の場合ですが、「S」の場合でも備考欄を修正した場合はこのようにご記入ください。2ページ目の一番下の「子ども読書支援係 試行的にメールにて図書館主催事業の開催について情報発信行った。」これは「S」ですので、当初は予定していなかったことをやりましたということを書いているわけです。そうしますと2019年度からのプランにも変更が生じているということで、2019年度には「適宜、図書館主催講座等の情報発信を行う。」と記入し、最終年度まで→を引いた、いうことでございます。なお、加筆、削除などは全て赤字でご入力をお願いしたいと思う。

本日記りしているのは、白黒印刷で赤字でないのので分かりにくいと思いますけれども、このような形で調査にご協力いただきまして、提出されたものをこちらで取りまとめたいと思っております。

なお、提出方法につきましては、庁内関係課は共用キャビネットに入力していただく、小・中学校には、データをメールでお送りしますので、ご入力の上、メールにてご提出をお願いしたいと思っております。

なお、更新後のアクションプランでございます。ご提出いただきました内容は、31年度アクションプランとしてこちらで再度まとめます。出来ました平成31年度版アクションプランには、平成30年度2018年度の列には実績が、2019年度から2023年度の列には更新後の予定が入ることになります。そして毎年振り返りを行い、この表に落とし込んでいくことによって、最終的にはこの表は第三次計画期間の実績表となると考えているところでございます。

簡単ですがご説明は以上でございます。

会長

はい。説明の方をさせていただきました。この振り返り（推進状況の確認）に関してはあくまでも、アクションプランの推進の確認という形で作成をしております。実際の推進計画の方の総括、最終的な総括をどのようにしていくかについては今後の検討課題となっているところです。

今回のアクションプランの推進確認をこのような形でしていきたいと私どもの方で考えたのは、振り返りをA,B,C,Sの記号で示して、備考欄にその理由を必要であれば記入するとしてまとめていくのが、比較的負担がない方法と考えたところなのですが、ご意見等ありましたらいただきたいと思っております。

委員 (1)振り返り欄ですが、「達成できなかったもの」と「実施しなかったもの」が同じ記号でいいのかなと素朴に思います。全然内容が違うと思うので、分ける必要があるのかなと思います。またアクションプランとは結局どの部分なのかが分からない、一番左の年次が入っているところが具体的な取り組みなのですね。そこがよく分からない。「プランの変更してください」と言われてどこを直すのか？というところから始まると思います。この表の見方がわかりにくいと思います。

1 ページの(4)の振り返りが「C」の場合は必ずプランの変更してくださいと言うのも、どういうことなのかがよく分からない。なんかバラバラに出てきそうな気がします。まとまらなそうな気がしました。

会長 まず 1 点目、「達成できなかった」と「実施しなかった」。その辺は分けた方がいいというご意見なのですが、当初考えていたのは、あまりこの A,B,C,D のように細かく分けるのもなかなか大変なのかなと思い、例えば「C」にして、「達成できなかった」のか「実施しなかったのか」ということは備考欄の方に書いてもらえばよいと考えたのですが、分けた方がわかりやすいというところもあるようであれば、それを検討したいと思います。

2 点目以降は事務局から説明します。

(事務局) どの部分がアクションプランか分からない、という点については、表を修正してわかりやすく表記をしていきたいと思います。

委員 私の経験も踏まえてなのですが、更新するのはどこを更新するかということを確認するほうが、各課の軸がぶれなくて済むと思います。また言葉の使い方で、以前、他の計画の更新する際、「それは方針を転換するということか、そうであれば更新をする必要性があるのか」ということを問われたことがありました。結果的には計画は6年間の見通しを立てているので、方針転換はよほどのことがない限りしなので「時点修正」という言葉を使ったことがありました。

資料1には、「毎年、必要に応じて修正」という言葉が使われて、資料2は「更新」となっているので、このあたり言葉の整理をしたほうがよいと思います。毎年、アクションプランが塗り変わっていくのであれば、そもそもこのアクションプランとは何か？という感じも受けるので、どこを修正するのかを明確にしてほしい。またいつ調査を実施するのもかも教えてほしい。年度内か次の年度の初めなのか？

会長 更新や修正というところの部分なのですが、私どもの方で、考えていたのは、各関係課や学校で無理なく取り組みを進めていただきたいというのが一番の趣旨です。そして最初に取り組みの計画を作成して

もやはり実際にはなかなか取り組めなかった部分も出てくるだろうと思ひまして、それを随時、先ほどの言葉でいうと「時点修正」ということになるのかもしれないですが、どうしてもできなかったものについては修正が出来るという点に重きに置いて、推進状況調査案を作成したところです。只今ご指摘があったように、こちらがそのような意図で作成したとしても、やはりまとまった時にそのようには見えない部分も出てきてしまうかと思ひますので、ご意見いただきましたのもう一度、図書館でどういう形でまとめていくのがよいのかを検討をさせていただきたいと思ひます。

委員

はい。今、ご意見を言っていた方と同じになりますが、言葉の整理は必要だと思います。まず「修正」と「変更」と「更新」と3つ言葉が出てきている。最初の1 振り返り欄の基準のところで、A,B,Cとあり、取り組みの内容を達成できたかどうか、というのがあるのですが、目標であれば「達成」でよいと思うのですが、取り組みの内容について聞くのであれば、「実施」できたかどうかを聞いた方が答えやすいのだと思ひます。「予定していた取り組みの内容を実施できた」「予定していた取り組みの内容を概ね実施できた」「予定していた取り組みの内容を実施できなかった」。つまりアクションプランなので、そこには各学校で計画を入れていただいているので、それについて実施できたのかできなかったのか、おおむね出来たのかっていうことを、量的にも評価をしてもらって、その上で、例えば、内容を変更するのか、修正をするのか、とした方がよいのではと思ひます。そもそも目標となるのは「目指す効果」、これが一つの達成目標だと思うのですね。こういう効果を狙っていくということなので、その整理が必要ではないかと思ひました。

それから、例示のところで上がっている評価が「A」で変更する場合がありますが、備考欄の「変更理由」ですが、これも少し工夫をしてされた方がよいのかなと思ひます。例えば、「児童館長とメールの活用について意見交換する」ということについて変更かけるために、備考に「予定通り実施できたが、2019年度は回数を増やす」とありますが、2019年度の欄については、変更の取り組み内容として、数値が入って2回となっていますが、何を変更したかがこれでは多分わからないと思ひます。回数を増やしたということなので、2018年度の欄、つまり今年度の意見交換のところに回数が入っていないと、どこを変更したかといことが多分提出があってもわからないと思ひます。もし例示で挙げるのであれば2018年度の欄ところに「児童館長とメールの活用について意見交換する。何回行った。」と回数を入れておかないと、2回になったのか増えたのか、変更

なっているのかどうか、ということがわからないと思いますので、そのあたり少し工夫をされると、学校でも、関係各課でも、この振り返りに基づいて修正や変更等を行い易いのかなと思いました。

やはり何か基準を入れておいた方がいいと思うのですが、先ほどお話をしたように A,B,C の「C」のところで、例えば取り組みについて「実施できなかった」と「実施しなかった」「できなかった」、そこには微妙な違いがあるわけなのですが、そのときにだいたい目安として 59 から 0% となっています。0% だったら、「実施しなかった。実施できなかった」ということだと思います。でもそうじゃなくて例えば極端な話ですけれども、ほぼ 1%、2%、5% あれば、それは実施をしたということになると思うのです。ですので、ここの評価の数値と評価する内容ですが、何について振り返りをして評価するのかというところが、目標を達成したかどうかなのか、取り組みの内容を実施したかどうかなのか、というところを整理された方がよろしいかと考えました。

委員

今、お話があったのと同じ振り返りの基準のところなのですが、「C」の幅が広いというか、「全く出来なかった」と「検討はしたのだけれどもまだ達成は出来ていない」というのを、同じ「C」として該当年度の内容を消して、翌年度にまた再掲するというのはどうかと思います。量的なものだけ見るのか、それともプロセス的な質的なところもみるのか、分かりにくくなっていると思います。

会長

はい。ありがとうございます。ご意見をいろいろ伺えた中で、私もちょっとまさにそのとおりだなと思ったところもあります。このアクションプランはそもそもまず計画があり、その取り組みをどのように実施していくかというところを、目に見える形で示したいと考えて作成しているところです。そういった中では確かに目標の達成ではなくて、その計画したことが実施できたのか、実施出来なかったかというところを振り返るという形にした方がいいのではないかと考えましたので、その辺りはまた内部で検討したいと思います。

また例示も、分かりにくいところもあるかと思うので、その点も少し修正を加えたいと思います。またアクションプランを変更したときに、それを残した方がいいのかそれとも消していた方がいいのか、という点も悩んだところですが、ここに経過等も加えていくと大変長い表になってしまいます。それで、まずは 1 枚でまとまるような毎年度の実績表としてこの様式をお示しましたが、書いていただく立場から少し分かりにくいところもあるのかなと思いました。そのあたりいろいろご意見いただいたので、どのような形で修正していくかももう一度持ち帰って考え

まして最終的なものを図書館の方で作成をしたいと思います。

委員

はい。大したことじゃないのですが、記入、削除の取り消し線は全て赤字でとなっていますが、資料を配付する時はモノクロで配付すると思いますので、修正したところは例えば「下線を引く」などとした方が、取りまとめをする人の作業も楽になると思います。今回の資料でも「赤字です」と言われて初めて赤字とわかりましたので。

会長

そのようにさせていただきます。

委員

細かいですけど、年度は西暦表記で良いのでしょうか？

会長

はい。今はとりあえず西暦の表記にさせていただいているところです。このあたりは元号年度を入れていくつもりでおります。

委員

教育委員会で報告されるときに多分言われると思いますのでそこを整理してください。

会長

はい。分かりました。ありがとうございます。

(事務局)

先ほど調査の実施時期につきまして質問がございましたが、今いただきましたご意見を参考に、様式案をもう一度検討し直しまして、4月に入りましてご依頼をしたいと思っております。小中学校につきましては、昨日の小中学校連絡会で、今年度は準備等があるので4月になっても仕方ないけれども、学校側としては、年度内に職員の異動があるので、年度内に振り返りとアクションプランの修正を終わらせたいということでしたので、小中学校につきましては、次回は2月中旬に配布して3月にご回答を頂く、また回答期間は1ヶ月程度ほしいという学校の方からのご意見をいただきましたので、そのようにしたいと思っております。

会長

はい、他にご意見等はよろしいでしょうか。いろいろご意見いただきましたので、もう一度修正の方をさせていただきたいと思います。他にこの会議の後でも、お気づきの点、この推進状況調査に実際に書く部分で、今、頂いた意見以外のところでもお気づきの点がありましたら、図書館の方にぜひお知らせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは次第の次に進みたいと思います。

最後になりますけれども、情報提供というところで、資料としてピンク色のチラシでございますけれども、現在「ほんともフェスタ」の開催をしているところでございます。昨年度は第三次計画の策定のため開催をお休みしましたが、本年度につきましては、2月28日から3月31日まで開催をしているところでございます。

3本柱になっておりまして、一つは「ほんはともだち！展示」ということで、こちらは学校図書館の取り組みの紹介ということで、小中学校

全校が作成した学校図書館の活動の取り組みを紹介する掲示物、ファイル形式での資料を、2月28日から3月3日まではグリナード永山で行いました。今後は図書館本館子ども図書室の前等で展示をさせていただきたいと思っております。グリナード永山で4日間展示をした際には、来場者数が4日間で、2,913人ということで3,000人近くの方に見ていただきました。この場所ではオープニングのおはなし会も行いまして、こちらも2日間実施しましたが、100人のご参加をいただいたところです。こちらでかなりの子どもたち、それから保護者の方も学校図書館の展示を見ていただきまして、活発な活動の様子なんかも見ていただいて、アンケート等でも好評ということでした。

もう2点目の柱は各館でのおはなし会ということで、チラシの見開き部分に、各館でのおはなし会のスケジュールがあります。

3点目が、「ティーンズ集まれ！ 作家、編集者の仕事分かるよ！ 講演会&ワークショップ」です。チラシの裏面のところに印刷をしております。多摩市に以前住んでいらっしゃいました小説家中澤日菜子さんにお越しいただいて「講演とワークショップ」を予定しています。3月16日で、現在、参加者を募集中で定員は50名ということです。是非ご参加をいただきたいと思いますので、機会がありましたらお知らせなどしていただければと思っております。以上が情報提供でした。

続きまして次第の4番目です。

次回の日程についてです。年2回の開催を予定しているところがございます。次回につきましては6月の開催を予定しておりまして、内容といたしまして、計画とアクションプランの進捗の報告等がメインとなる予定でございます。またこの会の中で協議としてご意見をいただく、話し合いをしていただくようなテーマというのも考えているところがございます。そういったものにつきまして、また日程近くなりましたら、メール等でお知らせをさせていただきますので、今後の会議の出席に関してよろしくお願い申し上げます。

本日の予定はこれで全て終了です。

閉 会